

●ご相談窓口のご案内

お買い上げの商品またはこの取扱説明書の内容につきまして、ご不明な点がございましたら、下記までご遠慮なくお問い合わせください。

- ホシザキ北海道株式会社 ☎(011)841-4433
札幌市白石区菊水1条4-1-8
- ホシザキ東北株式会社 ☎(022)728-9511
仙台市青葉区昭和町2-38
- ホシザキ北関東株式会社 ☎(048)660-2311
さいたま市北区宮原町3-36
- ホシザキ関東株式会社 ☎(03)3943-6201
東京都文京区白山4-37-33
- ホシザキ東京株式会社 ☎(03)5791-8001
東京都港区高輪2-20-32 ホシザキ高輪ビル
- ホシザキ湘南株式会社 ☎(045)731-1911
横浜市南区井土ヶ谷下町31-7
- ホシザキ北信越株式会社 ☎(076)240-2266
金沢市松島2-26
- ホシザキ東海株式会社 ☎(052)563-5581
名古屋市中村区名駅5-21-3
- ホシザキ京阪株式会社 ☎(06)6762-5351
大阪市中央区内本町2-2-12 ホシザキ本町ビル
- ホシザキ阪神株式会社 ☎(06)6886-5671
大阪市淀川区木川東3-1-34
- ホシザキ中国株式会社 ☎(082)293-9451
広島市中区土橋町1-13
- ホシザキ四国株式会社 ☎(087)862-2345
高松市木太町2160-1 佐々木ビル
- ホシザキ北九株式会社 ☎(092)471-7396
福岡市博多区美野島3-17-30
- ホシザキ南九株式会社 ☎(099)813-0007
鹿児島市下荒田4-41-11
- ホシザキ沖縄株式会社 ☎(098)861-1240
那覇市曙1-14-32
- ホシザキ電機株式会社品質管理グループ ☎(0562)97-8815
豊明市栄町南館3-16
- 坂本商事株式会社サービスセンター ☎(0562)97-2126
豊明市栄町南館3-16

0501

製造元 **ホシザキ電機株式会社**

本社 / 〒470-1194 愛知県豊明市栄町南館3-16 (0562) 97-2111

総販売元 **ホシザキ家電株式会社**

本社 / 〒470-1168 愛知県豊明市栄町南館3-16 (0562) 97-2121

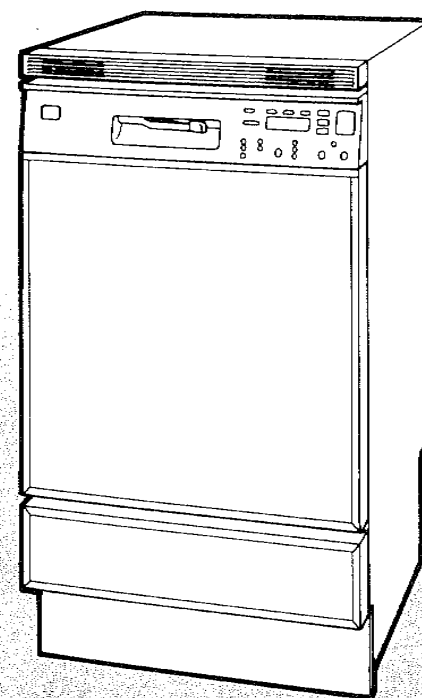
東京営業部 / 〒108-0074 東京都港区高輪2-20-32 (03) 5791-8031

大阪営業部 / 〒540-0026 大阪市中央区内本町2-2-12 (06) 4792-5551



ホシザキ 家庭用食器洗浄機 BJW-450B (ビルトインタイプ)

取扱説明書



- このたびは、ホシザキ商品をお買い求めいただきましてまことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになるまえにこの取扱説明書をよくお読みになり内容を十分に理解してください。
- お読みになったあとは必ずいつも手元においてご使用ください。
- 保証書を必ずお受け取りください。
- 据付工事説明書を販売会社または工事会社から必ず受けとって保存してください。

もくじ

安全上のご注意 1~6

各部の名前とその働き 7~10

- 洗浄機全体
- 操作部
- 付属品
- 注意ラベルの貼付位置

お使いになる前に 11

運転前の点検 (毎日) 12

- 配管の点検

運転のしかた 13~21

- 洗浄コースの選び方
- 設定方法
- 運転準備
- 乾燥仕上剤のセット
- ラッキング
- ラックを洗浄室に入れる
- 洗剤を入れる
- ドアを閉める
- 洗浄運転
- 食器の乾燥について
- 運転終了
- 汚れ落ちが悪いと思われるとき

お手入れ 22~25

- 毎日のお手入れ
- 週に1回のお手入れ
- 月1回のお手入れ
- 定期交換部品

修理を依頼するまえに 26~27

- 異常報知をしたとき
- 停電、凍結、断水のとき
- 次のような場合には

長期停止・移設 28

廃却・譲渡 29

保証とサービス・仕様 30~32

安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
- 表示と意味は次のようになっています。

	警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が、想定される内容を示します。
	注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、*物的損害の発生が、想定される内容を示します。

*物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

図記号の例

 感電注意	△は、注意（危険、警告を含む）を示します。 具体的な注意内容は、△の近くや中に文章や絵で示します。 左図の場合は「感電注意」を示します。
 分解禁止	⊙は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、⊙の中や近くに文章や絵で示します。 左図の場合は「分解禁止」を示します。
 プラグを抜く	●は、強制（必ずすること）を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに文章や絵で示します。 左図の場合は「差込みプラグをコンセントから抜くこと」を示します。

警告

●据付工事は専門業者に依頼すること

お客様ご自身で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災の原因になります。



専門業者



●アース工事を必ず行うこと

アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。（電気工事業者によるD種接地工事が必要です。）



アース工事

アース端子付コンセント使用のとき



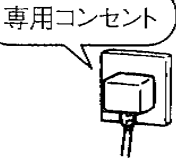
アース線を確実につなぐ

●電源は専用コンセントを使用すること

電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用、およびタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。



専用電源



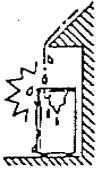
警告

●屋外で使用しないこと

雨水のかかる場所で使用されますと、漏電、感電の原因になります。



屋外禁止

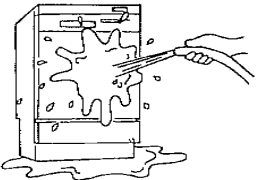


●製品に直接水をかけないこと

ショート、感電、錆、故障の原因になります。



水掛け禁止



●濡れた手で電源プラグなど電気部品に触れたり、電源スイッチを操作しないこと

感電の原因になります。



濡手禁止

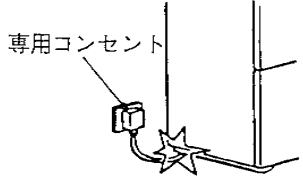


●電源コードを傷つけないこと

加工したり、引張ったり、たばねたり、また重いものを載せたり、はさみ込んだりすると、電源コードが破損し、感電、火災の原因になります。



禁止

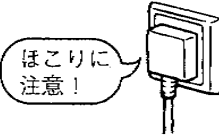


●電源プラグの刃および刃の取付面にほこりが付着していないか定期的に確認し、ガタのないように刃の根元まで確実に差し込むこと

ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、感電、火災の原因になります。



点検掃除

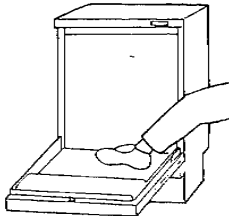


●扉にぶらさがったり、乗ったりしないこと

扉の脱落や製品転倒によるケガの原因になります。特にお子様にはご注意ください。



禁止

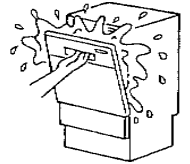


●運転中はドアを開けないこと

停止後、ブザーが鳴ってから開けてください。お湯が飛散し、やけどをする原因になります。



禁止

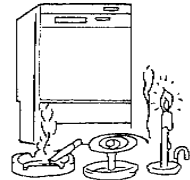


●火のついたローソク、蚊取り線香、タバコなどの火気や揮発性の引火物を近づけないこと

変形や火災の原因になります。



火気禁止



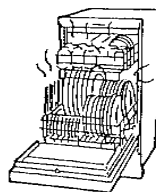
安全上のご注意

警告

- 洗淨直後の食器は熱い（約70℃）ので取り扱いに注意すること
やけどをする原因になります。



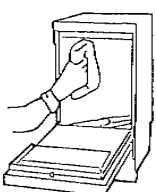
高温注意



- 洗淨機内部の掃除は排水後、庫内が冷えてから行うこと
やけどをする原因になります。



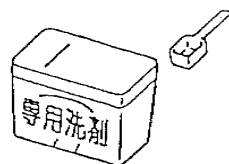
冷えてから



- 洗剤を取り扱うときは素手でさわったり、目に入ったりしないようにすること
肌荒れや、目に入った場合は視力障害の原因になります。また、幼児の手が届くところに置かないでください。



取扱注意



- 移設は専門業者か、最寄りの販売会社に相談すること
据付不備があると水漏れ、感電、火災等の原因になります。



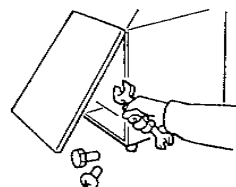
専門業者



- 修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理、改造は行わないこと
異常動作をしてケガをしたり、修理に不備があると感電、火災等の原因になります。



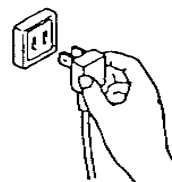
分解禁止



- 異常時は電源スイッチを『OFF（切）』にし電源プラグを抜くか、元電源を切って、すぐに最寄りの販売会社へ連絡すること
異常のまま運転を続けると感電、火災の原因になります。



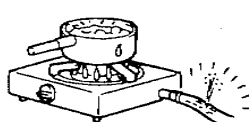
プラグを抜く



- ガス器具などからガスが漏れていたら、ガスの元栓を閉めて、換気すること
電源プラグを抜いたりしますと引火爆発し、危険です。



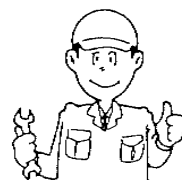
ガス栓閉



- 廃却は、専門の業者か最寄りの販売会社に依頼すること
放置しますと幼児などがケガをする原因になります。



専門業者

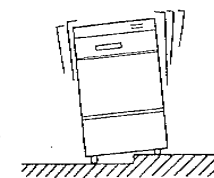


注意

- 床面が丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること
据え付けに不備があると水漏れ、転倒、落下によるケガなどの原因になることがあります。



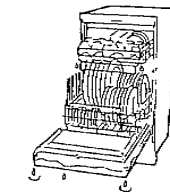
水平設置



- 水がこぼれても支障のない場所に据え付けること
ラックの出し入れ時に、水滴の落ちる場合があります。



設置場所



- 使用する水は水道水とすること
他の水は、錆、配管詰まり、不衛生などの原因になることがあります。



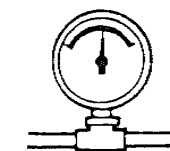
水道水



- 給水圧は0.03～0.49MPaの範囲内で使用すること
高過ぎると、接続部から水漏れをおこし、周囲（家財など）を濡らす原因になることがあります。



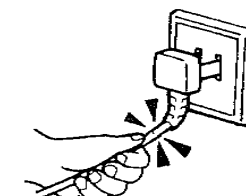
水圧



- 電源プラグを抜く時は、電源コードを持って抜かないこと
必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引張るとコードが傷つき、火災、感電の原因になることがあります。



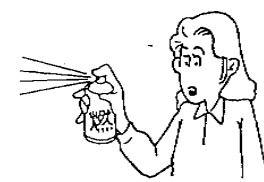
禁止



- 可燃性のスプレーを近くで使用したり、揮発性、引火性のあるものを置かないこと
スイッチの火花などで引火し、発火の原因になることがあります。



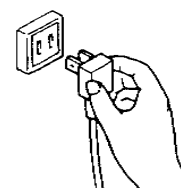
禁止



- 1週間以上ご使用にならない場合は、安全のため電源スイッチを『OFF（切）』にし、電源プラグをコンセントから抜くこと
電源プラグやコンセント部にほこりが溜まって発熱、発火の原因になることがあります。



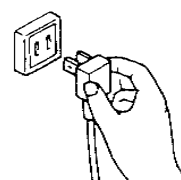
プラグを抜く



- 掃除するときや点検のときは、必ず電源スイッチを『OFF（切）』にして、電源プラグも抜くこと
思わぬところに水が入って感電したりやけどの原因になることがあります。



プラグを抜く



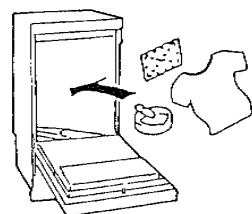
安全上のご注意

△注意

- 食器洗い以外の目的には使わないこと
故障の原因になったり、衛生上よくありません。



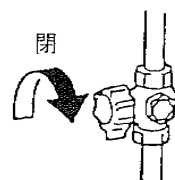
禁止



- 断水のときは、スイッチを『OFF（切）』にし、給湯バルブを閉めること
開けておくと、通水時に「赤水」が出て不衛生の原因になることがあります。



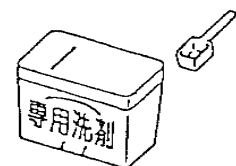
断水時閉弁



- ※
●必ず指定の食器洗浄機専用洗剤を使用すること
台所用の中性洗剤などを使うと、故障の原因になることがあります。
※指定洗剤：ハイウォッシュジョイA **P&G** 製



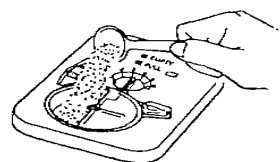
専用洗剤



- 「すすぎコース」では洗剤を入れないこと
食器に洗剤分が残り、健康上よくありません。



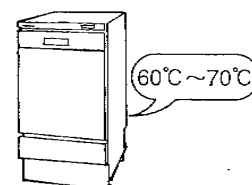
禁止



- 給湯器の温度を高温（60℃～70℃）に設定すること
低すぎると洗浄力が低下、高すぎると故障の原因になることがあります。
※他の蛇口からも高温のお湯がでます。ご注意ください。



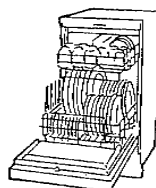
適正温度



- 洗浄機に適さない食器は洗わないこと
耐熱（90℃以上）でない食器、漆器、アルミ食器、銀食器、金装飾の食器、高級ガラス食器、クリスタル食器などを洗うと、変形・変色したり傷がつくことがあります。



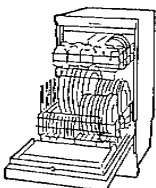
禁止



- ラックを押し込むときやドアを閉めるときに食器が洗浄機に当たるようであればラッキングをやり直すこと
食器破損の原因になることがあります。



食器を当てない



- ガラス食器は洗浄後、温度が高い間（目安として40℃）は、食器どうしを接触させないこと
傷がつく原因になることがあります。



接触禁止



△注意

- 氷を入れたりして、冷やしたガラス食器は一度ぬるま湯に浸してから洗うこと
急激な温度変化で割れるおそれがあります。



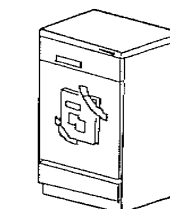
ぬるま湯に浸す



- このお使いになっている商品を他に売ったり、譲渡される時には、新しく所有者となる方が安全な正しい使い方を知るために、この取扱説明書を商品本体の目立つ所にテープ止めすること



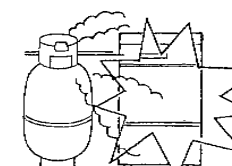
テープ止め



- 可燃性ガスの漏れるおそれがある場所への据え付けは行わないこと
万一ガスが漏れ製品の周囲に溜まると、発火・爆発の原因になることがあります。



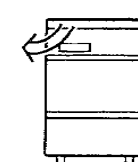
禁止



- 排気口付近に近づかないこと
湯気・温風により、やけどをするおそれがあります。



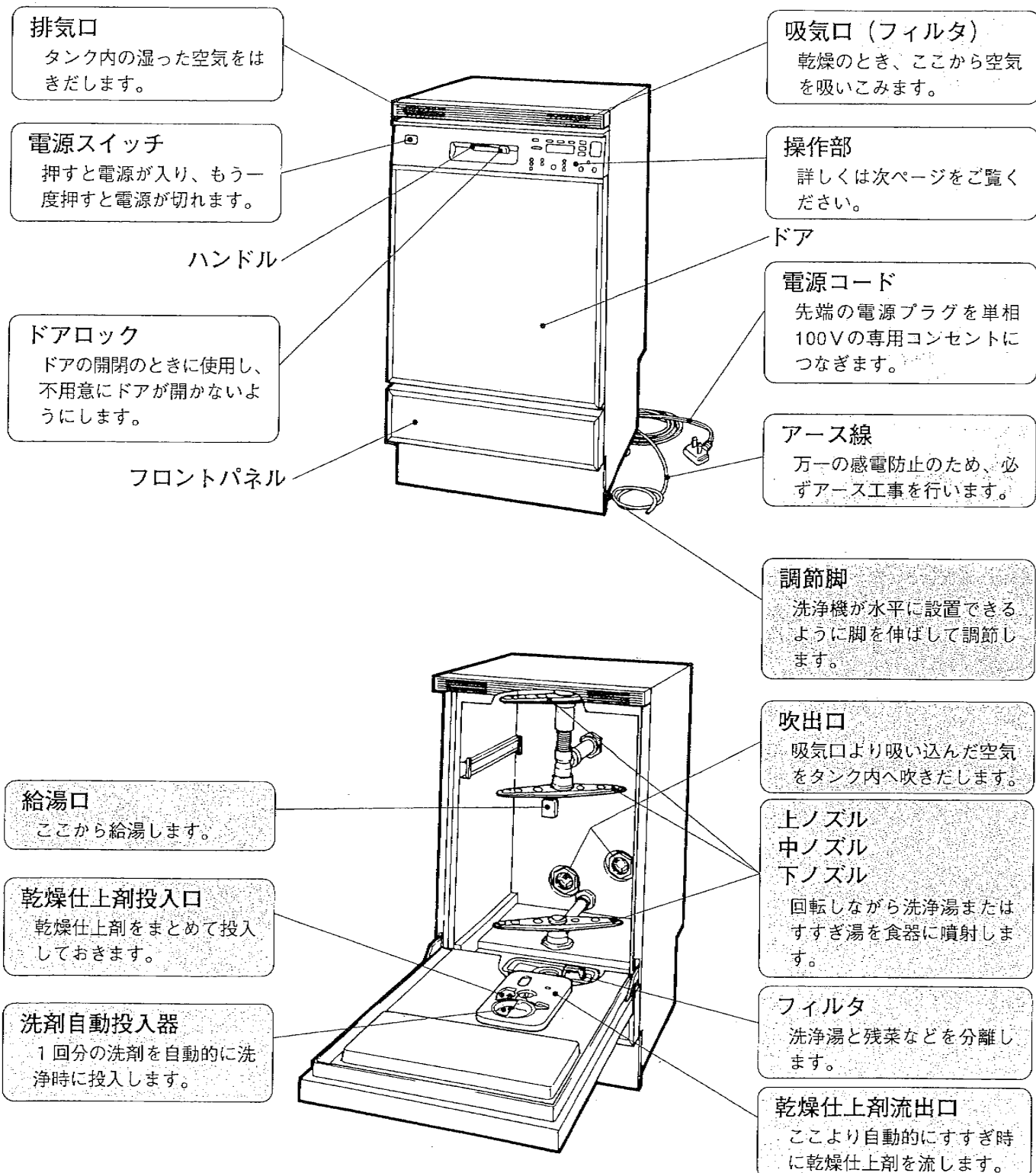
禁止



各部の名前とその働き

洗浄機全体

●本製品は食器類を自動的に洗浄する商品です。高温度の洗剤を含んだ湯を食器類に噴射し、洗浄を行いさらにすすぎ洗いをを行います。



操作部

コース表示ランプ

・セットされたコースのランプが点灯します。また進行中はその行程のランプが点滅します。

切替ボタン

・コース内容を変更するときに押します。

△…アップボタン

▽…ダウンボタン

スタート／一時停止ボタン

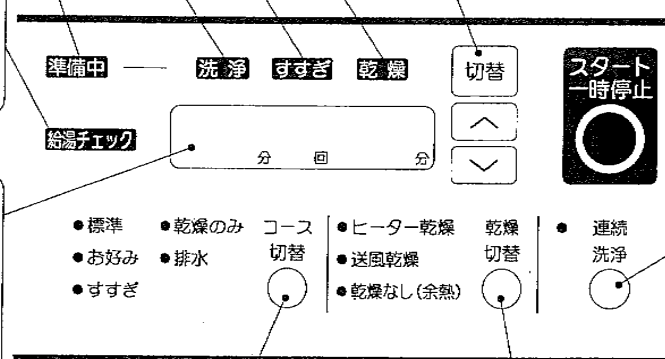
・スタートするときに押します。
・「標準」コースのときは、このボタンを押すだけで運転します。
・途中で止めるときに押します。再びスタートさせるときには、もう一度押します。

給湯器チェックランプ

・給湯温度が約50℃以下のときに点滅します。
このときは給湯器の温度設定を上げてください。

デジタル表示

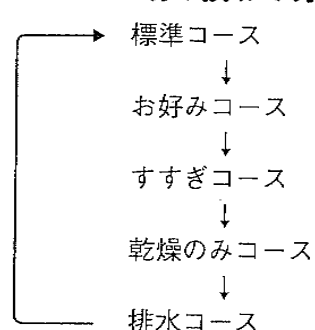
・セットされたコースの時間回数が表示され、運転中は、カウントダウンします。
・異常のときは、エラーコードを表示します。
詳しくはP26を



連続洗浄ボタン

・連続して洗浄したいときに押しておきます。
・最終のすすぎ水を次の洗浄湯として有効に使います。
(ただし、このとき乾燥行程は設定できません。)
・この場合、洗浄、すすぎ終了後に扉を開けると庫内にお湯が残ったままになります。これは、次の洗浄にそのすすぎ湯を利用し消費水量をおさえるためです。
(次の洗浄を行わない場合、20分後に自動排水します。)

コースの切り換えり方



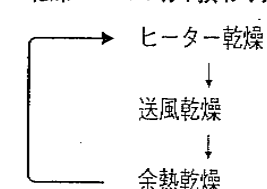
コース切替ボタン

・食器の汚れ具合、洗いかたに応じて選べます。
・ボタンを押すごとに左図のようにランプ表示が移動します。

乾燥切替ボタン

・乾燥のしかたが選べます。
・ボタンを押すごとに右図のようにランプ表示が移動します。

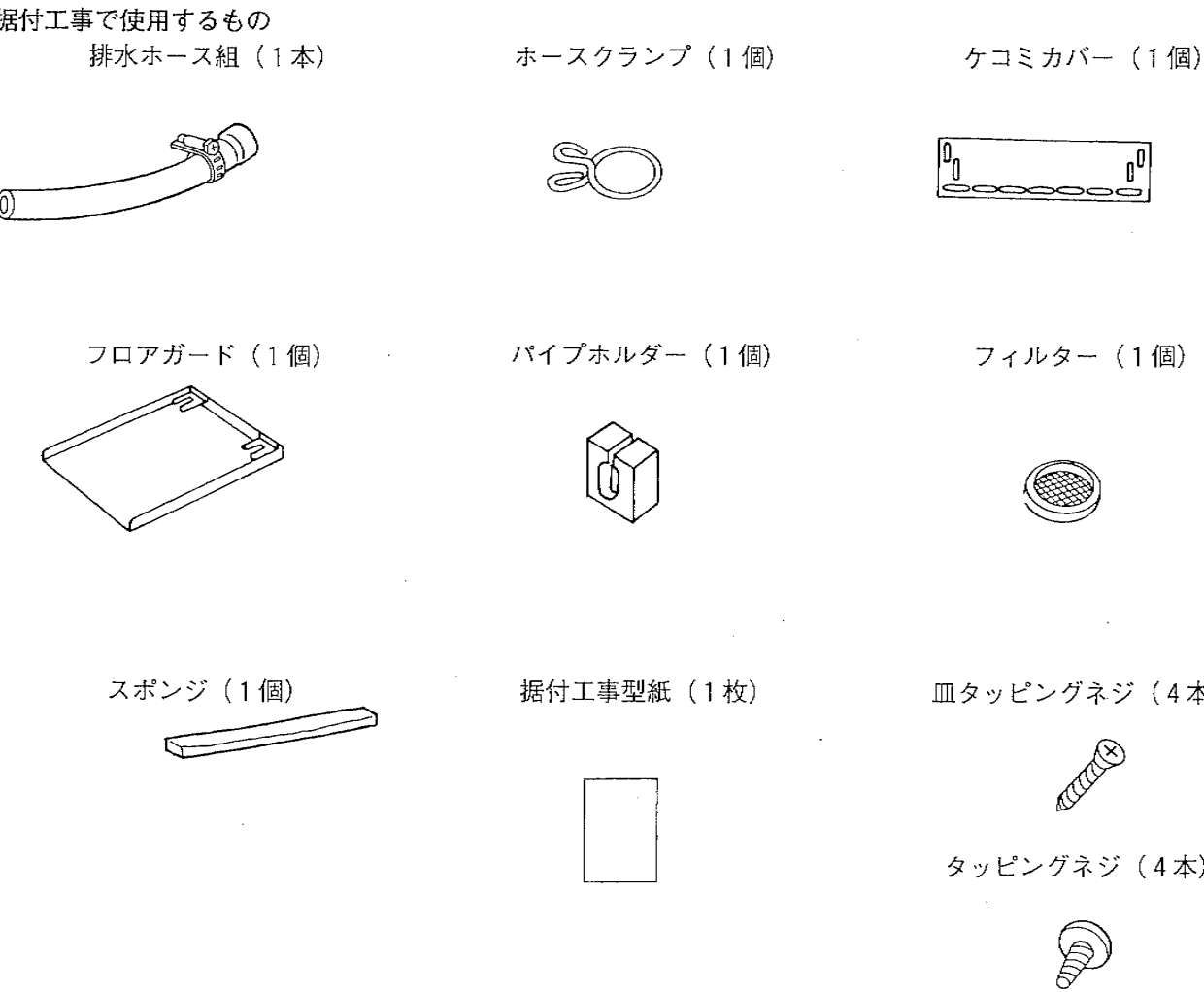
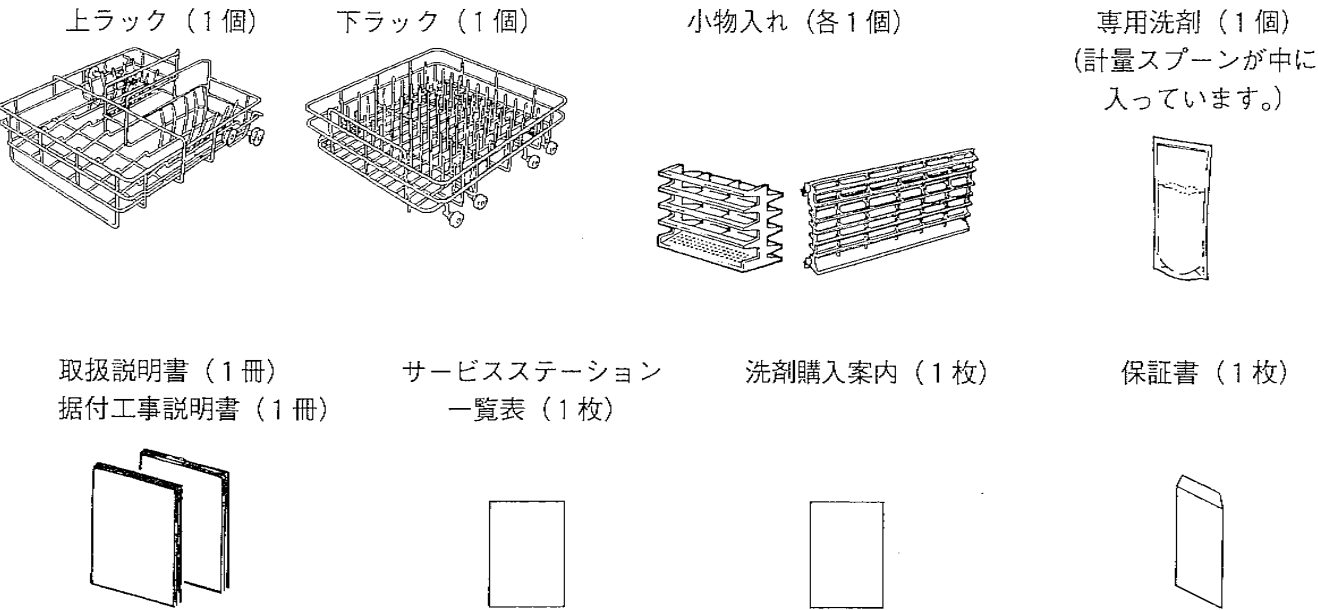
乾燥コースの切り換えり方



各部の名前とその働き

付属品

●部品コードは、P.32 [部品コード] を参照してください。



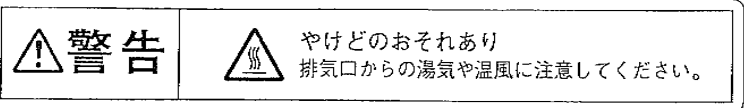
注意ラベルの貼付位置

- 特に重要と考えられる事項について、注意ラベルを貼り付けています。
- 部品コードは、P.32 [部品コード] を参照してください。

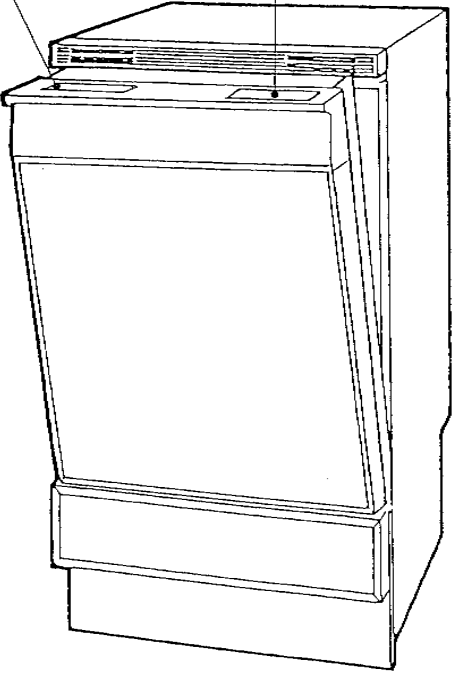
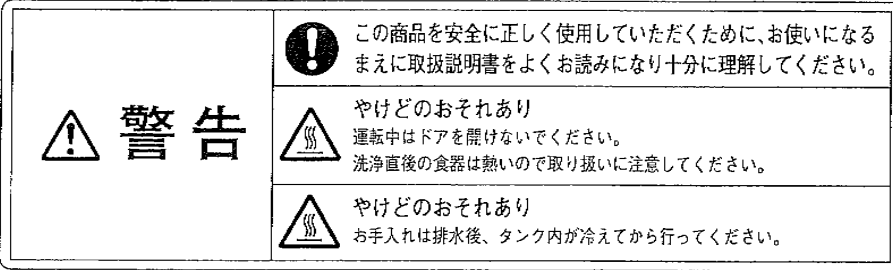
お願い

本体に貼り付けの銘板がはがれたり、文字が消えたりした場合は、販売店より部品コードを指定して購入し、貼り替えてください。

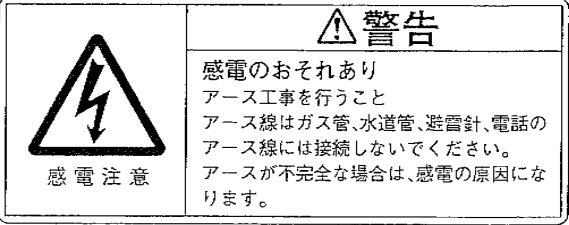
PLラベル/コウオン



PLラベル



PLラベル/カンデン



本体背面アース線取付け近くに貼ってあります。

お使いになる前に

1. 据付工事

⚠ 警告

据付工事は専門業者に依頼すること

お客様ご自身で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災の原因になります。



専門業者

2. 据付工事終了時の確認

- (1) 据付工事が終了しましたら、正しい工事が行われていることを「据付工事説明書」にしたがって確認してください。この確認はお客様が立合の上、専門業者といっしょに行ってください。
- (2) 「据付工事説明書」は工事が終了したとき、専門業者よりお受けとりになり、お客様ご自身で保管してください。

3. 周囲温度

使用温度範囲は周囲温度 5～35℃です。
この温度範囲以外では、正常な運転をしないことがあります。

4. 使用水

⚠ 注意

使用する水は水道水とすること

他の水は、錆、配管づまり、不衛生などの原因になることがあります。



水道水

5. 水圧

⚠ 注意

給水圧は0.03～0.49MPaの範囲内で使用すること

高過ぎると、接続部から水漏れをおこし、周囲（家財など）を濡らす原因になることがあります。



水圧

6. 洗浄室内の点検

この製品の洗浄室内はあらかじめ掃除がしてありますが、念のためにもう一度掃除をし、各部品が所定の位置にキッチンと取り付けられているかどうか、点検してください。
詳しくは、P.22【お手入れ】の項をご覧ください。

運転前の点検（毎日）

⚠ 警告

電源は専用コンセントを使用すること

電源コードは途中で接続したり、延長コードを使用、およびタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。



専用電源

濡れた手で電源プラグなど電気部品に触れたり、電源スイッチを操作しないこと



濡手禁止

感電の原因になります。

電源コードを傷つけないこと

加工したり、引張ったり、たばねたり、また重いものを載せたり、挟み込んだりすると、電源コードが破損し、感電、火災の原因になります。



禁止

⚠ 注意

電源プラグを抜く時は、電源コードを持って抜かないこと

必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引張るとコードが傷つき、火災、感電の原因になることがあります。

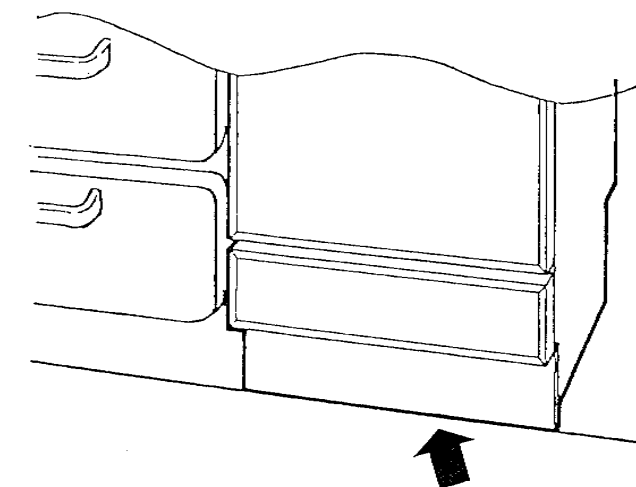


禁止

- (1) アース線が取り付けられていることを点検してください。
取り付けられていない場合は、電気工事業者に依頼して取り付けてください。
- (2) 電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていることを点検してください。
コンセントから浮いている場合は根元まで確実に差しこんでください。

配管の点検

- ・本機前面下部のケコミカバーと床との間から水がしみ出ていないか確認してください。
- ・もし水がしみ出ているときは、最寄りの販売会社へご連絡ください。



運転のしかた

⚠ 警告

濡れた手で電気部品に触れたり、電源スイッチを操作しないこと



感電の原因になります。

電源コードを傷つけないこと



加工したり、引張ったり、たばねたり、また重いものを載せたり、挟み込んだりすると、電源コードが破損し、感電、火災の原因になります。

扉にぶらさがったり、乗ったりしないこと



扉の脱落や製品転倒によるケガの原因になります。特にお子様にはご注意ください。

運転中はドアを開けないこと



停止後、ブザーが鳴ってから開けてください。お湯が飛散し、やけどをする原因になります。

洗剤を取り扱うときは素手でさわったり、目に入ったりしないようにすること



肌荒れや、目に入った場合は視力障害の原因になります。また、幼児の手が届くところに置かないでください。

異常時は電源スイッチを『OFF(切)』にし電源プラグを抜くか、元電源を切って、すぐに最寄りの販売会社へ連絡すること



異常のまま運転を続けると感電、火災の原因になります。

⚠ 警告

ガス器具などからガスが漏れていたら、ガスの元栓を閉めて、換気すること



電源プラグを抜いたりしますと引火爆発し、危険です。

子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わないこと



やけど、感電、ケガをする原因になります。

火のついたローソク、蚊取り線香、タバコなどの火気や揮発性の引火物を近づけないこと



変形や火災の原因になります。

洗浄機の使用時、使用後は、ほかの蛇口(湯)からも高温の湯が出るので注意すること



給湯器が高温設定になっているため高温の湯により、やけどをする原因になります。

⚠ 注意

可燃性のスプレーを近くで使用したり、揮発性、引火性のあるものを置かないこと



スイッチの火花などで引火し、発火の原因になることがあります。

排気口付近に近づかないこと



湯気、温風により、やけどをするおそれがあります。

⚠ 注意

食器洗い以外の目的には使わないこと



故障の原因になったり、衛生上よくありません。

給湯器の温度を高温(60℃～70℃)に設定し、運転を行うこと



低すぎると洗浄力が低下、高すぎると故障の原因になることがあります。
※給湯温度50℃以下では運転しません。
また、他の蛇口からも高温のお湯がでます。ご注意ください。

洗浄コースの選び方

- 1) 洗浄コースには、標準・好み・すすぎのみの3コースあり、また、乾燥のみのコースもあります。
- 2) 標準コース
一般的な汚れのときに使います。
- 3) お好みコース
標準コースで落ちにくいと思われる汚れのときに使います。お好みの洗浄時間、すすぎ回数、乾燥方法で運転できます。
- 4) すすぎコース
すすぎだけや汚れの少ないときに使います。
洗剤は使わないでください。
- 5) 乾燥のみコース
乾燥のみのときに使います。

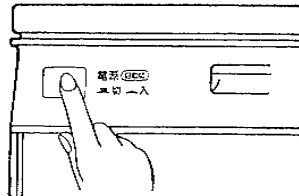
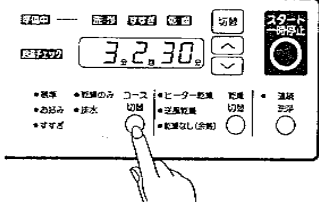
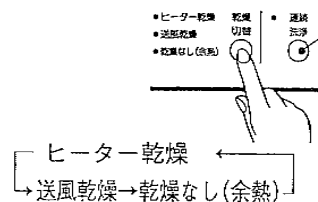
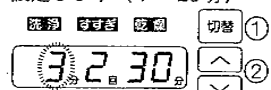
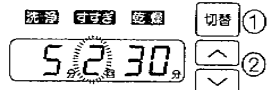
	準備中	洗浄運転		乾燥
		洗浄	すすぎ	
標準コース	前洗い	本洗い 3分	すすぎ(2回すすぎ) 1 2	「ヒーター乾燥」「送風乾燥」「乾燥なし(余熱)」の3つの方法から選べます。 乾燥時間も1分～60分まで選べます。 選んだ方法、時間は記憶されます。
	給湯温度をチェックし、低いと本洗いをしません。	本洗いに入ると洗剤を自動投入します。	最終のすすぎのときに乾燥仕上剤を自動投入します。	
好みコース	前洗い	本洗い 1～20分	すすぎ 2～5回	ヒーター乾燥 (ヒーターON ファンON) 1～60分 お好みの時間がセットでき記憶します。 送風乾燥 (ヒーターOFF ファンON) 1～60分 お好みの時間がセットでき記憶します。 乾燥なし(余熱) (ファンヒーターOFF) 乾燥工程を省略でき記憶します。
	給湯温度をチェックし、低いと本洗いをしません。	お好みの洗浄時間、すすぎ回数がセットでき、記憶します。		
すすぎコース	前洗い	給湯温度をチェックし、低いとすすぎをしません。	すすぎ(2回すすぎ) 2～5回 お好みの回数がセットでき記憶します。	ヒーター乾燥 (ヒーターON ファンOFF) 1～60分 お好みの時間がセットできます。 送風乾燥 (ヒーターOFF ファンON) 1～60分 お好みの時間がセットできます。 乾燥なし(余熱) (ファンヒーターOFF) 乾燥工程を省略できます。
乾燥のみコース				「ヒーター乾燥」「送風乾燥」のどちらかが選べます。 乾燥時間も1～60分まで選べます。 選んだ方法、時間は記憶されます。

ご注意

- 1) コース内容の変更は、スタートボタンを押す前に行ってください。
- 2) 一度セットしたコース内容は、マイコンにメモリー(記憶)され次回には、ディスプレイに表示されます。
- 3) 電源スイッチを入れたら、最初に必ず排水をします。

運転のしかた

設定方法

	標準コース	お好みコース	すすぎコース	乾燥のみコース
1 電源	電源スイッチを押して電源を入れる。  デジタル表示をします。  (このままで良い場合は、スタートボタンを押してください。「標準」コースがスタートします。)			
2 コース設定	コース切替ボタンを押してコースを選択します。  標準 ↓ お好み ↓ すすぎ ↓ 乾燥のみ→排水			
3 乾燥コース	「ヒーター乾燥」 「送風乾燥」 「乾燥なし(余熱)」 いずれかを選択します。  「ヒーター乾燥」 「送風乾燥」 「乾燥なし(余熱)」 →送風乾燥→乾燥なし(余熱) 続けて洗浄するときに押してください。最後のすすぎ湯を次の洗浄用として有効に使います。(このとき、乾燥行程はありません。)			
4 洗浄時間の設定	設定はできません。 洗浄時間は3分です。	①切替ボタンを押すと洗浄時間が点滅します。 ②アップダウンボタンで時間を設定します(1~20分)  ① 切替 ② ↑ ↓ 3 2 30		設定はできません。 洗浄行程はありません。
5 すすぎ回数の設定	設定はできません。 すすぎ回数は2回です。	①切替ボタンを押すと、すすぎ回数が点滅します。 ②アップダウンボタンで回数を設定します。(2~5回)  ① 切替 ② ↑ ↓ 5 2 30		設定はできません。
6 乾燥時間の設定	①切替ボタンを押すと乾燥時間が点滅します。 ②アップダウンボタンで時間を設定します。(1~60分)  ① 切替 ② ↑ ↓ 3 2 30			
7 スタート	スタートボタンを押します。 表示が点滅から点灯に変わり設定されたコースがスタートします。  スタートボタンを押すと設定されたコース、コース内容を記憶します。			

ご注意 ●デジタル表示には、給湯・排水の時間は含まれません。
●排水コースは設定・記憶機能はありません。
●停電又は電源プラグを抜いた場合は、一部記憶が消えますので、再度設定を行ってください。

運転準備

給湯器の取扱説明書にしたがって、ガス栓、給湯バルブ、電源を操作してください。

ラッキング

食器をラックに入れることをラッキングといいます。

⚠ 注意

洗浄機に適さない食器は洗わないこと

耐熱(90℃以上)でない食器、漆器、アルミ食器、銀食器、金装飾の食器、高級ガラス食器、クリスタル食器などを洗うと、変形・変色したり傷がつくことがあります。

禁止

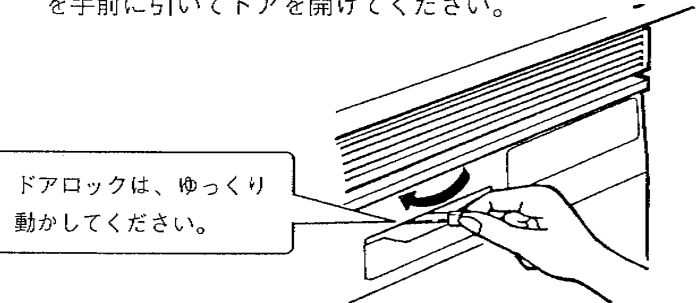
氷を入れたりして、冷やしたガラス食器は一度ぬるま湯に浸してから洗うこと

急激な温度変化で割れるおそれがあります。

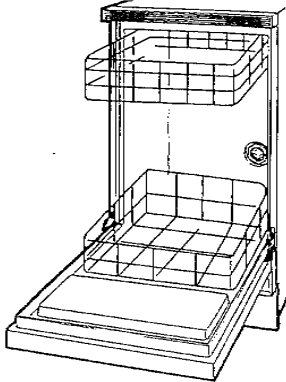
ぬるま湯に浸す

1. ドアを開けてラックをのせる

1) ドアロックを「開」の位置まで動かし、ハンドルを手前に引いてドアを開けてください。



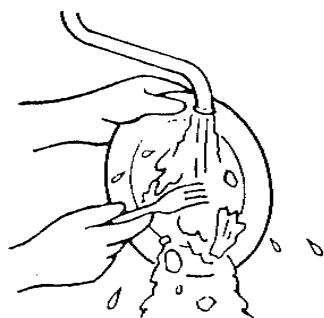
2) 上ラックは引きだして、下ラックはドアの上のせてください。



運転のしかた

2. 食器の前処理をする

- 1) 食器に残っている残菜（肉、魚、野菜など）、箸、つまようじ、ストロー、紙類、プラスチック類は取り除いてください。



- 2) グラタンの焼き付き、茶碗蒸し、ご飯粒などのこびりついた汚れは前もってお湯に浸し、柔らかくしてから取り除いてください。

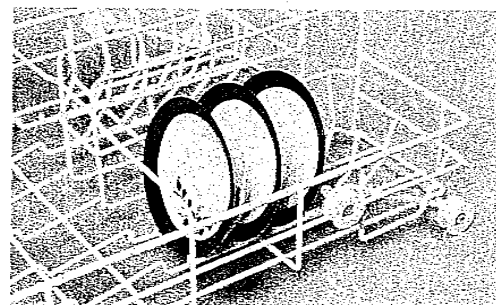
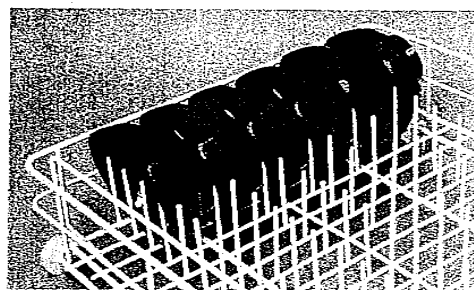
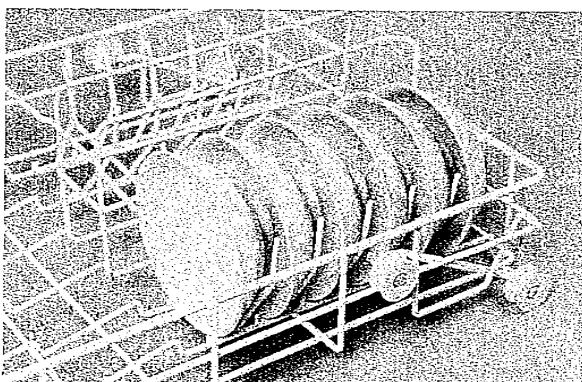
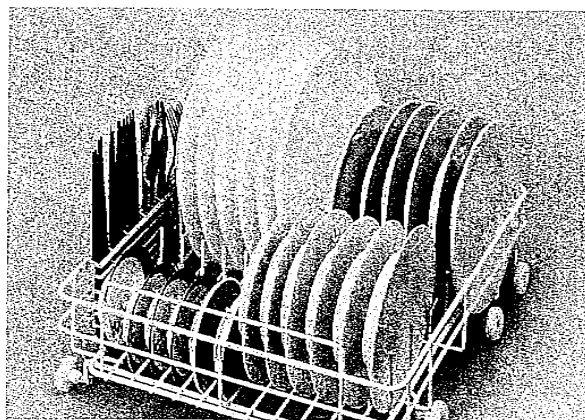
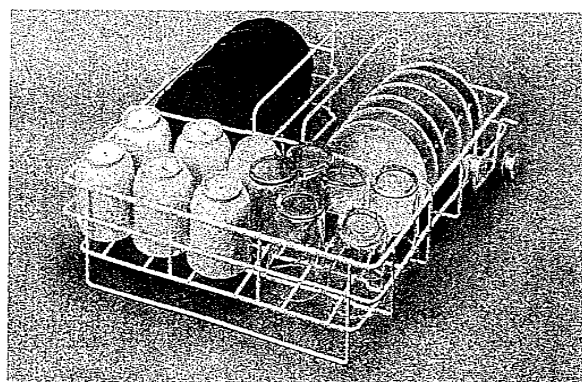
3. 食器をラックに入れる

食器はラックよりはみ出さないように入れてください。はみ出していると食器破損の原因になります。

上手な入れ方のポイント

ご注意

1. 全ての器の内側が下向きになるようにセットしてください。
2. はし、スプーン等は、汚れた方が上向きになるようにセットしてください。
3. ラックよりはみださないようにセットしてください。ノズルと接触し洗浄力に支障があります。
4. 食器の糸底に水が残ることがありますが異常ではありません。



ラックを洗浄室に入れる

△注意

ラックを押し込むときやドアを閉めるときに食器が洗浄機に当たるようであればラッキングをやり直すこと



食器を当てない

食器破損の原因になることがあります。

ラックを洗浄機に押し込んでください。

洗剤を入れる

△注意

必ず[※]指定の食器洗浄機専用の洗剤を使用すること

台所用の中性洗剤などを使うと、故障の原因になることがあります。



専用洗剤

※指定洗剤：ハイウォッシュジョイA
P&G 製

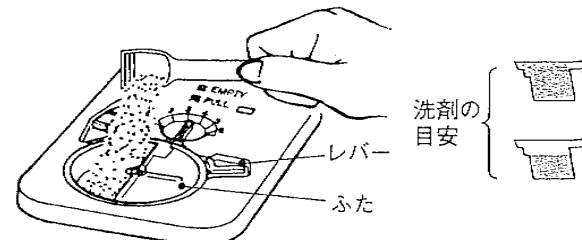
「すすぎコース」では洗剤を入れないこと



禁止

食器に洗剤分が残り、健康上よくありません。

- 1) 下図の付属のスプーン目安に従って洗剤を入れてください。（約15gが標準です）
- 2) ふたを左回りに回して閉じてください。



ご注意・ふたを閉め忘れないように

- ・ふたを開ける場合は、レバーを引いてください。

無理にふたを押して開こうとすると故障の原因になります。

お願い

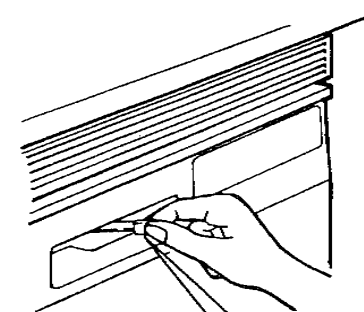
- (1) 固化した洗剤は粉状にくずしてからご使用ください。
- (2) 付属の洗剤がなくなりましたら、最寄りの販売会社または電気店、有名百貨店などの電気製品売場でお求めください。

※指定洗剤

ハイウォッシュジョイA N-HS80A、800g入

ドアを閉める

ドアを閉めてからドアロックは確実に「閉」の位置まで動かしてください。

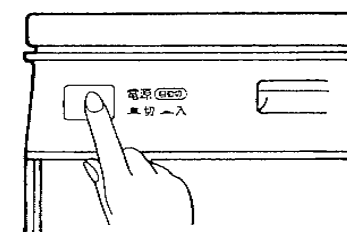


ドアロックは、ゆっくり動かしてください。

洗浄運転

1. 電源スイッチを入れる

電源スイッチを押してください。電源が入り洗浄準備の排水が開始されます。



最初は「標準」コースがデジタル表示されます。

洗浄 すすぎ 乾燥

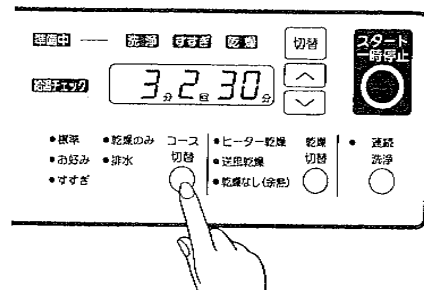
3 2 30

運転のしかた

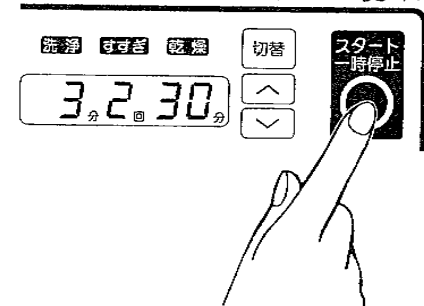
2. コースを選び、スタートする

希望するコースを選び、スタートボタンを押してください。

コース選択をしないでスタートボタンを押すと「標準」コースがスタートします。



(コース選択をするときは、P.14、15をご覧ください。)



●洗浄準備について

スタートボタンを押すと「準備中」ランプが点灯から点滅に変わります。

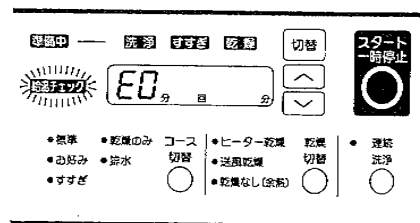
給湯し前洗いを1回行い排水し、次に洗浄用の給湯をします。このとき給湯温度が50℃以上であると「洗浄」行程をし「洗浄」ランプが点滅します。

50℃以下であると前洗いを繰り返し行い「給湯チェック」ランプを点滅させます。

その後も50℃以下であると、自動的に機械を停止させます。

給湯器を点検してください。

(給湯器の電源、給湯バルブ、設定温度)



3. 洗浄完了

⚠警告

洗浄直後の食器は熱い(約70℃)ので取り扱いに注意すること



高温注意

やけどをする原因になります。

⚠注意

ガラス食器は洗浄後、温度が高い間(目安として40℃以上)は、食器どうしを接触させないこと



接触禁止

傷がつく原因になることがあります。

注意1) 乾燥行程が設定されてないときは、自動的に「電源スイッチ」は「切」になります。

食器の乾燥について

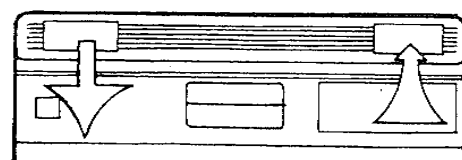
⚠注意

排気口付近に近づかないこと



禁止

湯気・温風により、やけどをするおそれがあります。



- 1) お湯の余熱による自然乾燥を利用しています。洗浄・すすぎ行程終了後、送風運転(強制吸排気)を行い湯気抜きをします。設定により温風を用いたヒーター乾燥コース、ヒーターを用いない送風乾燥コース、送風を行わない余熱乾燥コースが選択できます。
- 2) 連続洗浄ボタンを押した場合には乾燥コースは設定できません。(余熱乾燥のみとなります。)
- 3) 食器のセットの仕方や、食器の形状、給湯温度、室温等により乾き具合に差が生じます。温風送風時間は1~60分の間で調整できます。最初は30分に設定されています。
- 4) 設定された送風時間終了後、自動的に「電源スイッチ」が「切」になります。連続洗浄ボタンを押した場合は、運転終了後20分後に残っているすすぎ湯が自動的に排水されます。その後自動的に「電源スイッチ」が「切」になります。

運転終了

洗浄機使用後は、安全のために給湯器の湯温設定を低温にしてください。

給湯器が高温設定になっているため高温の湯によりやけどをする原因になります。

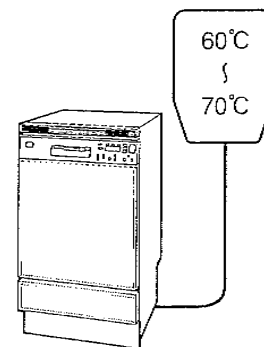
汚れ落ちが悪いと思われるとき

1. 給湯温度は適正ですか

給湯温度が低すぎますと洗浄能力が低下します。

給湯器の温度を高温(60℃~70℃)に設定してお使いください。

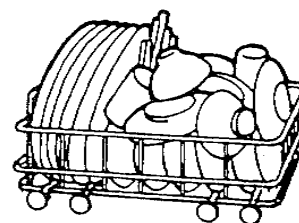
※他の蛇口からも高温のお湯がでます。ご注意ください。



2. 食器が重なっていませんか

●食器を入れすぎていませんか(重なっている部分は洗えません。)

重なっているようであれば、食器の内側に噴射水が充分あたるように入れ直してください。(P.16 [ラッキング] を参照してください。)



3. 食器が黄ばんだり黒ずんで見えるときは

●食器が黄ばんだり、薄黒くなるのは、水に含まれる鉄分や茶しぶのためですから、ときには食器をこすって洗うようにしてください。



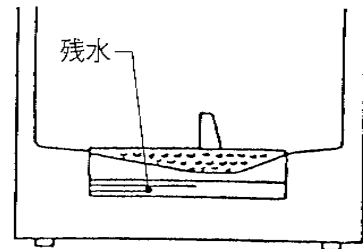
4. 次の点もお調べください

- (1) 箸やスプーンなどの小物や食器の一部がはみ出してノズルの動きをとめていませんか。はみ出していたら取り除いてください。(P.17 [3. 食器をラックに入れる] を参照してください。)
- (2) フィルタやノズルが目づまりしていませんか。目づまりしていたら汚れを洗い落としてください。(P.22 [お手入れ] を参照してください。)
- (3) 専用洗剤が入れてありますか。入れてなければ入れてください。(P.18 [洗剤を入れる] を参照してください。)
- (4) こげつきやこびりついた汚れは落とされましたか。あらかじめ落としておいてください。(P.17 [2. 食器の前処理をする] を参照してください。)

運転のしかた

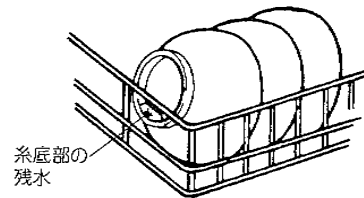
5. 次の場合は異常ではありません

(1) 庫内の残水



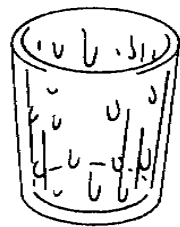
排水終了後、フィルタの下に湯が若干残ります。
この残水は、次回ご使用の時に最初に排水されます。

(2) 糸底部の残水



食器セットのしかたや形状によっては運転終了後に、
食器の糸底部に水滴や湯が若干残ることがあります。

(3) コップの水滴のあと

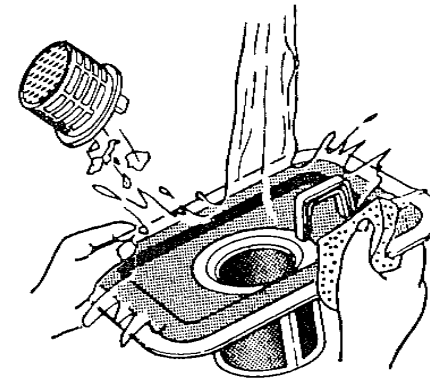


透明なガラス食器に薄い水滴のあとが残るのは、洗剤
やすすぎ不足が原因ではなく、水に含まれているミネ
ラル分のためです。その時は布で拭き取ってください。

お手入れ

毎日のお手入れ

- 1) 排水後、庫内が冷えてからフィルタを取り出して
ください。
- 2) フィルタにたまっている残菜をすてて、きれいに
洗ってください。



- 3) フィルタの水を切り、元どおりに取り付けてくだ
さい。

週に1回のお手入れ

警告

製品に直接水をかけないこと

ショート、感電、錆、故障の原因にな
ります。



水掛け禁止

濡れた手で電源プラグなど電気部
品に触れたり、電源スイッチ操作
しないこと



濡手禁止

感電の原因になります。

警告

電源プラグの刃および刃の取付面
にほこりが付着していないか定期
的に確認し、ガタのないように刃
の根元まで確実に差し込むこと



点検掃除

ほこりが付着したり、接続が不完全な
場合は、感電、火災の原因になります。

洗浄機内部の掃除は排水後、庫内
が冷えてから行うこと



冷えてから

やけどをする原因になります。

注意

1週間以上ご使用にならない場合
は、安全のため電源スイッチを
『OFF (切)』にし、電源プラグを
コンセントから抜くこと



プラグを
抜く

電源プラグやコンセント部にほこりが
溜まって発熱、発火の原因になること
があります。

掃除するときや点検のときは、必
ず電源スイッチを『OFF (切)』
にして、電源プラグも抜くこと



プラグを
抜く

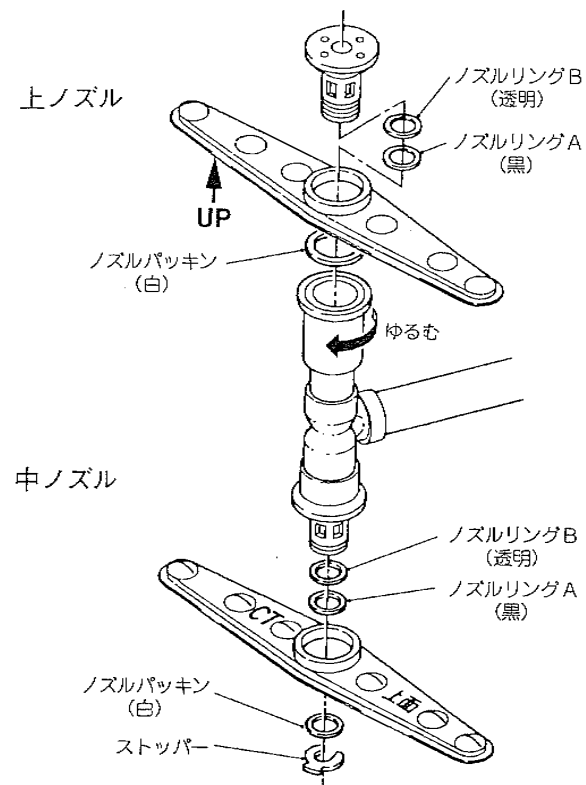
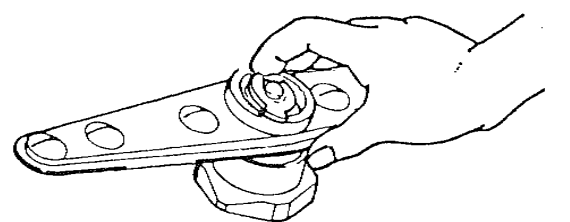
思わぬところに水が入って感電したり
やけどの原因になることがあります。

お手入れ

1. ノズルの掃除

- 1) ストッパーをはずし、ノズルパッキンとノズルをはずします。

ストッパーのはずし方



注意・ノズルは上、中、下ノズルの3つあります。

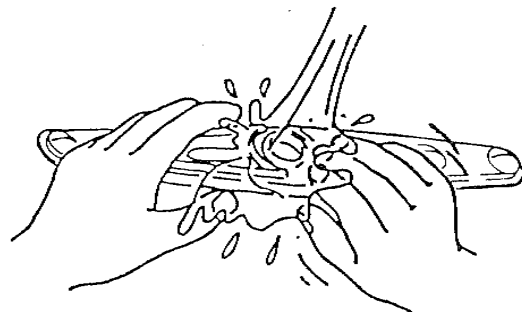
それぞれ印がつけてあります。

UP……上ノズル

CT……中ノズル

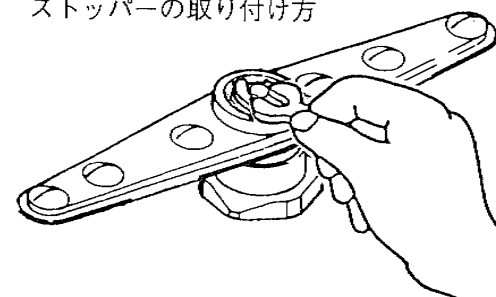
LO……下ノズル

- 2) はずした後、水洗いし異物をきれいに落してください。

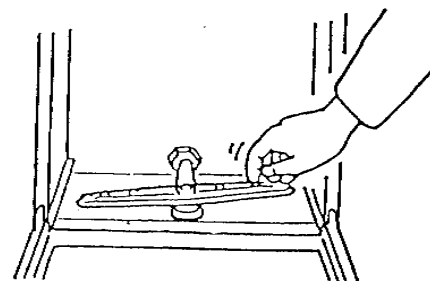


- 3) 洗った後はもとどおり取り付けてください。特にノズルパッキン（白）を入れ忘れると、ノズルの回転が悪くなり、洗浄力が低下します。

ストッパーの取り付け方

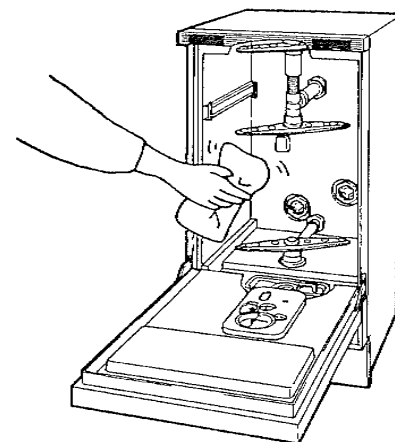


- 4) 取付後、ノズルが手で軽く回ることを確認してください。

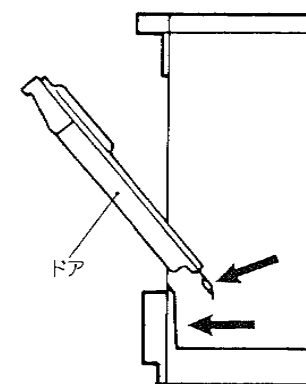


2. ドアやタンクの内面掃除

- 1) よく絞った布でていねいに拭いてください。時々、食器洗浄機専用洗剤を使用し、食器を入れずに洗浄運転しますと、清潔さを保つことができます。



- 2) ドアの奥側についているドアガasketが傷んでいないか点検してください。破れたり、欠けたりしていると水漏れの原因になりますので、そのときは最寄りの販売店にご連絡ください。



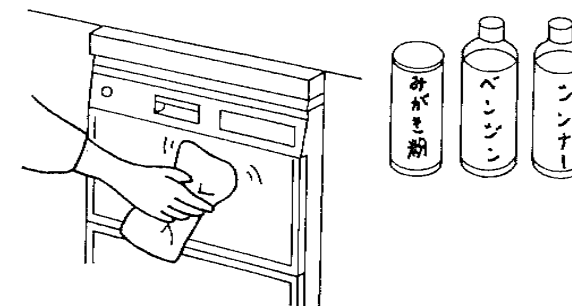
月1回のお手入れ

1. 外装の掃除

ぬれたやわらかい布で汚れを拭きとります。汚れがひどいときは、台所用洗剤をしみ込ませて拭いてください。そのあと洗剤分が残らないようにぬれた布で拭きとってください。

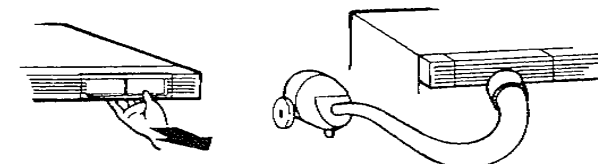
お願い

たわしやみがき粉、有機溶剤の使用はやめてください。塗装面やプラスチック部を傷めます。化学ぞうきんをご使用の際は、その「使い方」にしたがってください。



2. 吸気口、排気口の掃除

掃除機などで、付着したゴミを吸いとってください。吸気口は下部を手前に引くと取り外せます。水洗いをした場合は、よく乾かしてください。取り付けは、外した場合の逆の手順で取り付けてください。



3. 漏電遮断器の点検

△注意

漏電遮断器は月に1回動作確認すること

漏電遮断器を故障のまま使用すると、漏電のとき動作せず、感電の原因になることがあります。



動作点検

漏電遮断器の動作確認は、漏電遮断器の取扱説明書にしたがって実施してください。

お手入れ

定期交換部品

下表の部品は定期的に交換が必要です。

部品名	交換時期の目安
ドアガスケット	2年 運転頻度や給湯温度などの条件により、寿命が異なりますので、週一回のお手入れで、ドアガスケットの劣化（破れ、欠けなど）に注意してください。

サービスマンが実施する安全点検のおすすめ

製品のご使用に支障がなくても、保証期間をすぎてご使用される場合は、水かかりや汚れによる電気部品の絶縁劣化、経年変化などにより、感電、火災、水漏れなどの原因になることがありますので、最寄りのホシザキ販売会社に点検をご依頼ください。（有料）

- 点検内容
- 機械内部のほこりの堆積、水漏れ、汚れ
 - 本体および使用部品の経年変化の状況
 - 水経路の水垢、シリカ、石灰などの異物

修理を依頼するまえに

警告

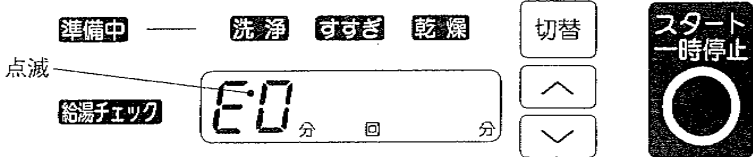
修理技術者以外の方は絶対に分解したり、修理、改造は行わないこと



異常動作をしてケガをしたり、修理に不備があると感電・火災等の原因になります。

異常報知をしたとき

異常が発生したときには、ブザーを鳴らしエラーコードを表示します。



エラーコードの解除は、一度電源スイッチを切って点検しもう一度電源を入れてください。エラーコードが消えないときは次のようにしてください。

エラーコード	異常内容	処置のしかた
E0 点滅	湯温の異常です。 給湯温度が50℃以下になっています。	給湯器の調整をして給湯温度が50℃以上になるようにして、はじめからやり直してください。
E1 点滅	給湯時間の異常です。 給湯器から給湯がありません。（断水など）	給湯器の止水栓を確認してください。 給湯器のスイッチを入れてください。 本機の止水栓を開いてください。 断水していませんか。 使用中に断水した場合は、電源スイッチを「切」にして運転を中止してください。断水が回復してから使用する場合は、「すすぎ」コースで運転し、にぎった湯を流してから運転を再開してください。 お湯を他の場所で同時に使っていませんか。 上記を行ってもエラーコードが消えないときは、お買い上げの販売店へご相談してください。
E2 点滅	排水時間の異常です。 残水があります。	お買い上げの販売店へご相談してください。
E3 点滅	給湯、排水の異常です。	洗浄機の止水栓を閉じてからお買い上げの販売店へご相談してください。
E4・E5 点滅	サーミスタ(湯温検知用)の異常です。	お買い上げの販売店へご相談してください。
E6 点滅	乾燥用ヒーターの異常です。	
E9 点滅	マイコンの異常です。	
00000 点滅	運転中に停電し、回復したとき。	初めからやり直してください。

修理を依頼するまえに

停電、凍結、断水の時

停電	電源スイッチを「切」にします。停電が回復したら、運転を再開してください。
凍結	電源スイッチを「切」にして、庫内に70℃以下の温水を約3L入れ、解凍してください。 解凍後、電源スイッチを「入」にし、「すすぎ」コースで運転することを確認してください。
断水	使用中に断水した場合は、電源スイッチを「切」にして運転を中止してください。 断水が回復してから運転を再開する場合は、一度「すすぎ」コースで運転し、にごった湯を流してから洗浄運転を行ってください。

お願い

その日のうちに停電や断水が回復しないようであれば、食器は手洗いし、給湯器の停止を行ってください。

次のような場合には

1) 電源スイッチを押して、「切」にし、下記点検内容にしたがい、処置を行ってください。

現象	調べるところ	処置のしかた
まったく作動しない	1)停電していませんか。 2)ご家庭のヒューズ・ブレーカーが切れていませんか。 3)電源プラグはきちんと差し込まれていますか。 4)電源スイッチは「切」になっていませんか。 5)ドアロックは「開」になっていませんか。 6)「コース選択ボタン（スタートボタン）」を押しましたか。	1)上記の「停電のとき」に従ってください。 2)ヒューズ・ブレーカーを復帰させてください。 3)きちんと差し込んでください。 4)「入」にしてください。 5)「開」にしてください。 6)押してください。
異常音がでる	1)食器洗浄機の据え付けが傾いたりガタついていませんか。 2)ノズルに、はしなどが当たっていませんか。 3)給湯中の「ブーン」という音は給水弁の作動するときの音で異常ではありません。 4)洗浄中の「ザーザー」という音はノズルの噴水が庫内に当たる音で異常ではありません。	1)水平にし、ガタつきをなくしてください。 2)取り除いてください。
ドアから水がもれる	ドアとタンクの間に異物がはさまっていませんか。	取り除いてください。
給湯しない	1)給湯バルブは開いていますか。 2)給湯器が使用できる状態になっていますか。 3)断水していませんか。	1)開けてください。 2)給湯器の取説に従って操作してください。 3)上記の「断水の時」に従ってください。
排水しない	1)凍結していませんか。 2)運転終了後、庫内に多少水が残りますが異常ではありません。	1)上記の「凍結のとき」に従ってください。

- 2) 処置が終わったら運転を再開してください。(P. 13「運転のしかた」を参照してください)。
- 3) 再度、上記の現象が起きるようであれば、電源プラグを抜いてから、最寄りの販売店へ連絡してください。

長期停止・移設

長期停止

⚠注意

1週間以上ご使用にならない場合は、安全のため電源スイッチを『OFF(切)』にし、電源プラグをコンセントから抜くこと



プラグを抜く

電源プラグやコンセント部にほこりが溜まって発熱、発火の原因になることがあります。

電源プラグを抜く時は、電源コードを持って抜かないこと



禁止

必ずプラグを持って抜いてください。
電源コードを引張るとコードが傷つき、火災、感電の原因になります。

長期にわたり、洗浄機を運転されなかった後で運転を再開したときに異常を感じられた場合は必ず、電源プラグを抜いてから最寄りの販売店に連絡してください。

移設

⚠警告

移設は専門業者か、最寄りの販売会社に相談すること



据付不備があると水漏れ、感電、火災等の原因になります。専門業者

お客様ご自身での移設は、絶対に行わないでください。
感電やケガをするおそれがあります。

廃却・譲渡

廃却

⚠ 警告

廃却は、専門の業者が最寄りの販売会社に依頼すること



放置しますと幼児などがケガをする原因になります。専門業者

廃却する場合は、最寄りの販売店にご相談ください。他人の迷惑になるような無断放置などをしないようにしてください。

譲渡

⚠ 注意

このお使いになっている商品を他に売ったり、譲渡される時には、新しく所有者となる方が安全な正しい使い方を知るために、この取扱説明書を商品本体の目立つ所にテープ止めすること



テープ止め

保証とサービス・仕様

1 この製品には、保証書がついています

- (1) 保証書は最寄りのホシザキ販売会社で発行します。必ずお受け取りいただき、よくお読みになり大切に保管してください。
- (2) 転居などで修理の依頼先がご不明の場合は裏表紙に記載のホシザキ販売会社にご相談ください。

2 保証修理について

以下は保証書と同一内容です。

1. 保証修理の内容

この保証は、保証書表記記載のこの製品を構成する後記3.に記載する保証部品について、当社の責任により不具合が発生した場合に、この保証書に記載する期間と条件に従って、これの無料修理（この無料修理を「保証修理」といいます。）をお約束するものです。保証修理は、部品の交換または補修により行います。なお、保証修理時に取り外した不具合部品は、当社の所有となります。

2. 保証修理の受け方

保証修理をお受けになる場合は、ホシザキ販売会社にご連絡ください。ホシザキ販売会社のサービスマンがお伺いした際、この保証書をご提示のうえ、保証修理をお申し付けください。保証書を提示されない場合、保証修理をお受けいたしかねます。

3. 保証部品

この保証書に基づく保証の対象となる部品（保証部品といいます。）は、取扱説明書に記載する消耗品を除いたものです。

4. 保証期間

保証修理を受けられる期間（保証期間といいます。）は、保証書表記記載のとおりです。なお、交換部品として新たに装着した部品についての保証期間は、この保証書の期間満了時までとします。

5. お客様にお守りいただく事項

お客様がこの製品の取扱説明書、この製品に貼付されたラベルその他の注意書きに従って、正しい使用・お手入れがなされている場合に、保証修理をいたします。これらが守られていない場合は、保証修理をお断りすることがありますので、ご承知おきください。

- (1) 取扱説明書に記載する取扱方法、貼付ラベルその他の注意書きに従った正しい使用・お手入れ
- (2) 法令等で定められた安全性確保に関する日常および定期的な点検整備
- (3) 取扱説明書に記載する消耗品の交換、および定期交換部品の指定どおりの交換

6. 保証しない事項

- (1) 以下の現象等、不具合と認められないものは、保証修理いたしません。
 - ・ 通常の使用損耗および経年変化により発生する現象（樹脂部品、塗装面、メッキ面等の自然退色・劣化・剥離等）
 - ・ この製品の性能上問題がないことが一般的に認められている現象等（通常の運転音、振動、操作フィーリング等）
- (2) 以下の不具合は、外的要因によるものであり、当社の責任による不具合ではありませんから、保証修理いたしません。
 - ・ 地震・風水害・落雷等の自然災害、火災による罹災事故、公害・塩害・有毒ガス・薬品・異常電圧等を原因とした不具合
 - ・ 給排水管の破損、異物の詰りによる不具合
 - ・ 給水・給電が行われなかったことに起因する不具合
 - ・ お客様の故意・過失により生じた不具合
 - ・ ホシザキ販売会社以外の第三者が、修理または改造等したことによる不具合
 - ・ 不具合の原因が、この製品以外の部分にある場合の不具合
 - ・ 寒冷時における製品内の凍結による不具合
 - ・ 車両、船舶等の揺れ動く場所での使用による不具合

保証とサービス・仕様

- (3) 以下の不具合は、適切な点検・整備・お手入れまたは正しい使用・管理等がなされていないことに起因するものですから、保証修理いたしません。
- ・ 法令等で定められた安全性確保に関する日常および定期的な点検整備の未実施に起因する不具合
 - ・ 取扱説明書に記載する取扱方法、貼付ラベルその他の注意書きに従った正しい使用・お手入れの未実施に起因する不具合
 - ・ 取扱説明書に記載する消耗品の交換、および定期交換部品の指定どおりの交換の未実施に起因する不具合
 - ・ 通常の注意で発見・処置できたにもかかわらず、放置した事により拡大した不具合
 - ・ 当社の指定する部品以外の部品・原材料または洗剤等を使用したことに起因する不具合
- (4) 保証修理以外に、以下の費用については、この保証書に基づいて当社が負担することはいたしません。
- ・ この製品を使用できなかったことによる賠償費用
 - ・ 自らまたはホシザキ販売会社以外が修理した場合の修理費用
7. 別途費用
- 以下の費用については、別途、お客様の費用負担としてご請求申し上げます。
- (1) 保証修理を行うため、離島または離島に準ずる遠隔地に赴く場合の旅費（航空運賃・乗船運賃・宿泊費等）
- (2) 取扱説明書に記載する消耗品および定期交換部品の費用（作業費を含む）
8. 保証の発効
- この保証は、機種、機番、設置年月日が記入されていることにより有効となります。
9. 保証の失効
- この保証は、保証書に記載する保証期間が満了した時に、効力を失います。また、保証期間内であっても、製品が日本国外に持ち出された時には、効力を失います。
10. その他
- (1) この保証は、日本国内においてのみ有効です。
- (2) この保証書は、再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- (3) この保証書は、この保証によって、お客様の権利を制限するものではありません。
- ※ This warranty is valid only in Japan.

3 保証期間満了後の修理について

保証期間満了後は、修理によって製品の性能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料で修理いたします。なお、補修用性能部品の最低保有期間は、当製品の製造打切り後9年です。補修用性能部品とは、製品の性能を維持するために必要な部品です。

4 保守制度のおすすめ

便利でお得な保守制度へのご加入をおすすめいたします。これは定期的に点検整備を行い、常に安定した性能を維持してお客様に安心してご使用いただくための制度です。詳細は最寄りのホシザキ販売会社にお問い合わせください。

5 部品コード

[付属品]	[注意ラベル]
上ラック …………… 2H1761A01	P L ラベル …………… 449753-01
下ラック …………… 2H1768A01	P L ラベル／コウオン …………… 449754-01
小物入れ …………… 2H1293-01	P L ラベル／カンデン …………… 449580-01
小物入れ …………… 3H5189-01	[定期交換部品]
取扱説明書 …………… 9180PB-0J	ドアガスケット …………… 4H7120-01
据付工事説明書 …………… 9280PB-0G	
排水ホース組 …………… 4X2765A01	
ホースクランプ …………… 435934-08	
ケコミカバー …………… 4H8753-01	
フロアガード …………… 3H5772G01	
パイプホルダー …………… 4H7186-01	
据付工事型紙 …………… 107990-01	
フィルター …………… 436310-01	
スポンジ …………… 4X4526-01	

仕様

	BJW-450B
電 源	100V (50/60Hz共用) 容量1.1kVA (11A)
消 費 電 力	洗浄ポンプ：50／60Hz……………175W／235W
外 形 寸 法	幅448×奥行570×高さ800mm
製 品 質 量	45kg
外 装	ABS樹脂、亜鉛鉄板
標 準 洗 浄 時 間	約12分（標準コース・乾燥を除く）
洗 浄 方 式	3段回転ノズル噴射式
制 御 方 式	マイコン制御
す す ぎ 方 式	給排水すすぎ
標 準 収 納 容 量	約6～8人分
水 道 水 圧	0.03～0.49MPa
周 囲 温 度	5～35℃

This image shows a single sheet of white paper with horizontal blue or grey ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.